

2月9日（雪）の御苑ガイドウォーク体験記

前日、「え、大雪の予報!？」

当日10時の「新宿門」に、FさんとOさんが来ました。

そこへ突然Yさんが到着。ビックリ!です。ということで、3人でガイドウォークをすることになりました。



入り口を入ってすぐの所には、10人以上の人が集まっています。「この雪の日に参加する物好きな人が結構いるものだな～」と妙に感心していたら、半分はガイドの方々でした。

希望を出してよいということで「大きな木と花に詳しいガイドの方」をお願いしたところ、「では私が!」と、我々より少し若い男性のガイドさん（ボランティアのおじいさん）の案内となりました。まず、ヒマラヤスギです。



ヒマラヤスギ（松の仲間、松ぼっくりができます）



モミジバスズカケノキ

この大きな木は 50 年前にもしっかりとここに居て、若かった我々のことを、きっと見ていたんだろうな〜って、柄にもなくしみじみとしてしまいました。また、この近くにハンカチの木が 3 本あります。5 月にはヒラヒラとしたハンカチの様な苞につつまれた花が咲いているはずです。



5月のハンカチの木

http://fng.or.jp/shinjuku/blogarchive/2008/04/post_8312.html

次は、泰山木。5月には、大きな白い花を咲かせているようです！

この道は「母と子の森」へ続いています。そこは木道になっていました。滑る木道をゆっくり進み、ラクウショウの木の所に出ました。ラクウショウ（落羽松）は、沼地や湿地帯に生えるそうです。そのため気根が地上に出ています。



ラクウショウ

秋になると枝が扇の羽のように落葉することから、落羽松といわれます。北米原産のスギ科の常緑針葉樹で、湿地や沼地に生育するためヌマスギとも呼ばれています。新緑や紅葉が美しいので、公園などの水辺にときどき植えられます。地面にごっこつしたタケノコのように並んでいるのは、気根といってラクウショウの根から出ているものです。地上や水面上に出て、酸素をとり入れる働きがあります。このラクウショウは明治時代に植えられたもので、樹齢100年をこえる大木です。日本国内でこれほど古く、また気根も美しく発達したラクウショウはたいへん珍しく、価値の高いものといえるでしょう。



高校からの抜け道があったのは、実はこのあたりかな！？って、話が出ています。5月に確認しませんか？

さらに寒い中を歩き、日本庭園で観梅。ツバキとサザンカの違いを勉強して、いよいよ寒くなり終了したくなりましたが、ガイドの方は「まだ 10 分ありますよ」とやる気満々。何しろ F さんが大変反応よく一生懸命なので、ガイドさんノリになってしまったのです・・・> <

「ゆりのき」でランチです。「鹿肉のカレー」というのを頼みました。おいしかったです。

それから、新宿御苑のシンボルと言われる「ユリノキ」を探しに行きました。ありました！3本揃って、芝生の中央にで〜んと構えていました。皆さん、このユリノキを覚えてますか？



5月の頃のユリノキ

そして最後は温室めぐりです。3人とも大して期待してなかったのですが、これがまたよかったです！ま、暖かいということもありましたが・・・



↑ サラソウジュ

Yさんとは温室で別れ、FさんとOさんは温室と大木戸門周辺のトイレ状況を偵察してから大木戸門を出ました。

3人の心はすでに5月♥

「5月の新宿御苑は間違いなく素晴らしいだろう！」と確信した、大満足の雪の新宿御苑訪問でした。

(文責：Oさん)